70の手習い

札幌市医師会
北海道脳神経外科記念病院
田代理枝子

もう何年前のことか思い出せないのですが、確かポールモーリアのコンサートで初めてオカリナの演奏を聞き、その美しい音色に魅了されました。どんな曲だったのかも覚えていないのですが、心に響きました。

70歳になって、何かこれからでも楽しめるようなことをやってみたいと考え始めた時、あのきれいなオカリナの音色を思い出し、吹いてみたいと思いました。その後、息子が誕生日にオカリナと教本をプレゼントしてくれましたので、どこかに習いに行きたいと思っていたところ、ある日新聞にオカリナの無料体験教室という折り込みチラシが入っていました。当時皮膚科医院を開業していましたが、ちょうど休診日の木曜日でしたので、早速行ってみると、初級クラスのレッスンは木曜日の午前中１時間半で、月に２回でしたので、すぐに申し込み、オカリナも注文しました。

楽器の経験はまったくなかったのですが、楽譜は少し読めましたのであまり抵抗なく始められました。私たちが使っているオカリナは素焼きの焼き物で、12の指穴があり、それらを開閉することによって音を出します。当初は指穴を塞ぐのに力が入りすぎて、指腹に圧痕が深く付いて痛くなりました。基礎的な音の出し方を覚えながらいろいろな曲を練習するのですが、ほとんどが子供の頃に慣れ親しんだ曲なので、すぐに吹くのが楽しくなりました。

あとで知ったのですが、私が入会したのは全国展開している会社のオカリナ教室で、オカリナも教本も独自のものを使っています。

初級の２年目の後半に、初めての発表会があり、札幌コンサートホール（Kitara）の大ホールを借り切って行われるとのこと、驚きました。参加する、しないは自由でしたが、「Kitaraの大ホールの舞台にはなかなか立てませんよ」との誘いに乗って参加することにしました。当日は全道から約400名の受講者が集まり、指導者のグループも含めて25のグループの演奏がありました。私は28名のグループで「旅愁」と「アメージンググレイス」を演奏しましたが、結構緊張しました。

発表会は２年に１回で、その後中級クラスの間にKitaraで２回行われ、昨年2019年には初めて札幌文化芸術劇場（hitaru）で行われました。この時は全道から約700名の参加があり、私は上級クラスの45名のグループに入って「小さな旅」（NHKの同名の番組のテーマ音楽）と「てんとう虫のサンバ」を演奏しました。１年前から練習して、なんとか曲想をつかんで演奏できたように思います。

その他いろいろなイベントがありますが、2014年10月には、名古屋ドームで3,000人がオカリナのレッスンを受けてギネスの世界記録に挑もうという企画に参加しました。実際には2,489名でしたが、「Largest Music Lesson」として認められ証明書を頂きました。またその翌日には、伊勢神宮で北海道から参加した約40名で奉納演奏をさせていただくというめったにない経験をすることができ、大変良い思い出になりました。

そして東日本大震災復興のチャリティコンサートは、今は亡きある一人の講師の多大な援助で始められたそうで、震災の翌年から毎年行われていて、札幌駅前通地下歩行空間の一角を借りて、札幌の会員約250名が交代で100曲を演奏します。参加は自由で、自分が吹ける曲を選んで好きなパートを演奏することになっています。今年2020年で９回目になるはずですが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となってしまいました。

初級は２年で、中級は３年半で修了し、現在は上級クラスの４年目になりました。発表会を含めてイベントへの参加は自由ですし、教室では先生が個人的に間違いを指摘したり、褒めたりすることもなく、曲の演奏が完璧にできなくてもだいたいよければ次に進みます。良い先生に恵まれ、同年代の仲間との出会いもあり、自分なりのペースでできたことが、長く続けられた理由ではないかと思います。家族や周りの人たちの理解と協力にも感謝しています。

オカリナは簡単な楽器で高齢者でも始めやすいと言われているように、確かに簡単に音が出せますが、正確できれいな音を出すのは結構難しいと感じています。上級クラスになると、テンポの速い曲や派生音の多い曲などがあり、指使いが難しくなってきて楽譜通りに吹くのがやっとで、なかなか曲想を表現するところまでには至りません。更に歳とともに指の動きが悪くなったり、肺活量が衰えたり、“老い”と付き合いながらの演奏になるため、なお一層の練習が必要なのですが、夫の介護もあり思うに任せないこともあります。いまだに想像していたようなきれいな音は出せませんが、自分なりの楽しみを持てたことは何よりの喜びです。上級修了まであと１～２年？と言われていますが、なんとか頑張って一緒にいる仲間とともに修了したいと思っています。